

雨竜町

仲倉 昇吾

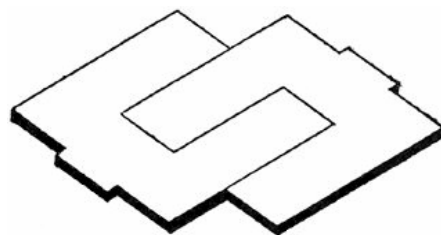
1. 雨竜町の概要と地理

1.1 雨竜町の由来と概要

雨竜(うりゅう)とは、アイヌ語の地名「ウリロペツ」(鵜の多い川という意味)より転訛しもので、雨竜川の河口に多くの鵜が生息していたことから、このような名が付けられたといわれている。町章には雨竜町の頭文字を組み合わせ、町民の強固な団結を象徴し、明るく住みよい豊かな郷土建設意欲の結集による将来の振興を意味している。

町花にはダリア(1969年9月12日)、町木にはトドマツ(1969年9月12日制定)が制定されている。色彩と変化に富み開花期間の長いダリアは、雨竜町の繁栄と平和を、風雪に耐え風格に富む常緑樹トドマツは不老木として、雨竜町の限りない発展を象徴している。1889年の華族組合農場による開拓に端を発し、1989年に開基100年を迎え現在に至る雨竜町の歴史は、まさに農業の歴史である。一方、雨竜町のみならず我が国にとっても貴重な自然である雨竜沼湿原を含む一帯が1990年に暑寒別天売焼尻国定公園に指定され、大勢の観光客が訪れる雨竜沼への玄関口としての顔を見せている。

図1 町章



出典：雨竜町 HP

図2 町花 ダリア



出典：雨竜町 HP

1.2 雨竜町の歴史

1889年、樺戸雨竜上川郡役所が月形村に置かれる。そして、1890年4月、庁令第1号により新十津川村が誕生し、雨竜地区から総代がでる。1892年2月、同庁令第5号により雨竜村が設けられる。1893年1月、道庁令第1号により雨竜村は新十津川戸長役場所轄となり、1897年7月、雨竜村戸長役場を開庁する。1899年7月、北竜村を分村する。1915年4月、2級町村制が施行され、1961年9月、町制が施行される。1985年3月、雨竜町役場追分出張所が廃止される。そして1989年9月、雨竜町開基百年を迎える。

1.3 雨竜町の地理

雨竜町は、東経 141 度 53 分 5 秒、北緯 43 度 39 分 6 秒に位置し、東西は 31.8 キロメートル、南北は 15.95 キロメートルであり、面積は 190.91 平方キロメートルである。空知支庁管内の北西、雨竜郡の南端に位置し東は石狩川をへだてて滝川市、南は尾白利加川に沿って新十津川町、東北は雨竜川をへだてて妹背牛町、北は恵岱別(えたいべつ)川を経て北竜町、北西は国定公園暑寒別岳を経て増毛町にそれぞれ接している。本町の周囲を流れる石狩・雨竜・尾白利加・恵岱別の各川の流域は概ね平坦で、肥沃な農耕地 3 千ヘクタールは、雨竜町の富源とのどかな農郷を形成している。

気候は大陸性気候で年較差が大きくなるのが特徴である。これは、図 4 からわかるように最暖月と最寒月との差は 30.4 度もあり、年較差の大きさが確認できる。また、年の

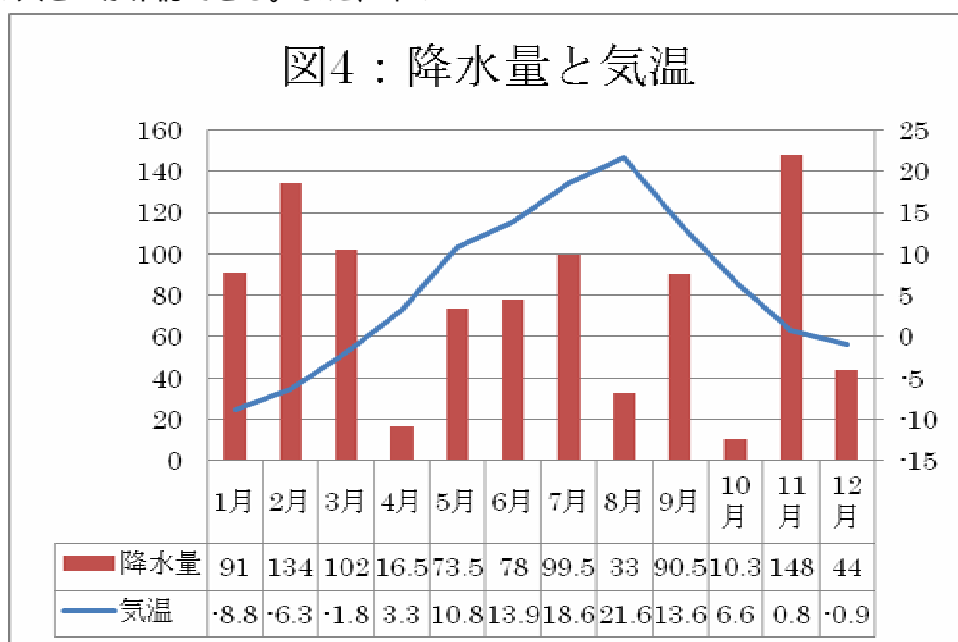
平均気温は 5.95 度である。さらに、降水量は月ごとにばらつきがあるものの、冬に降水量が多いことから雪が多いことが分かる。また、1 月の最低気温は -21 度を下回っていて、8 月の最高気温は 30 度を上回っている。このことから、雨竜町は、夏は暑く、冬は寒冷であり、雪が多く降ることからあまり住みやすい土地とはいいいくそうである。

図 3 雨竜町の位置



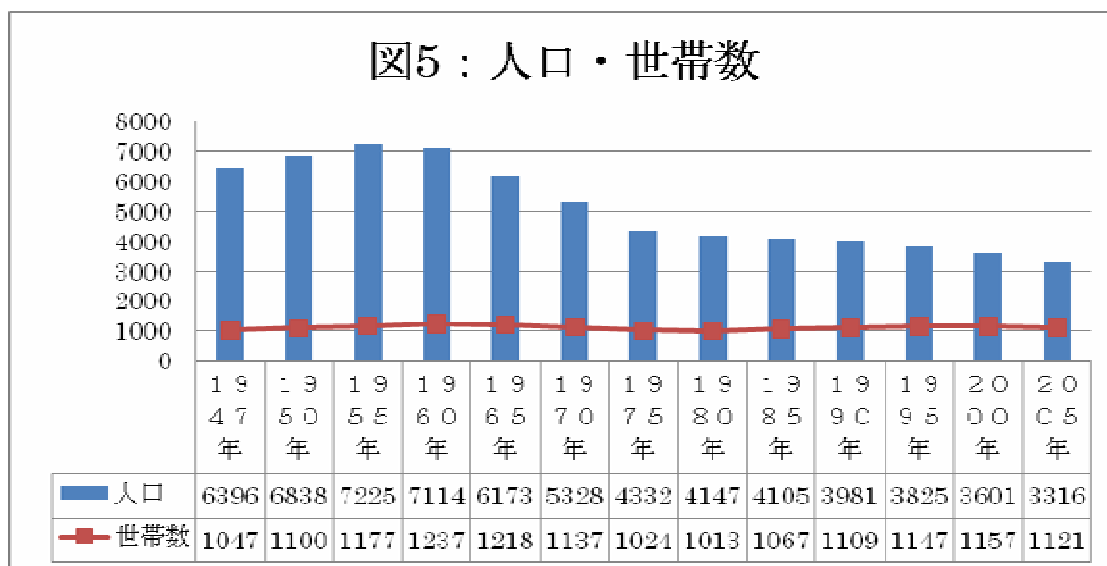
出典：wikipedia

図4：降水量と気温

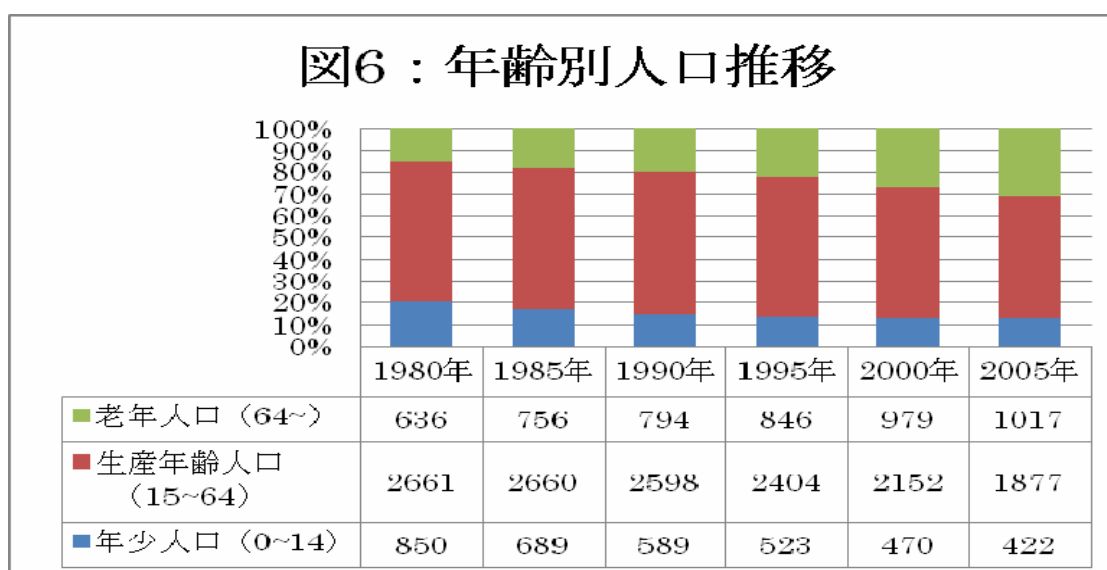


出典：気象庁 HP

2.雨竜町の人口・世帯数



出典：雨竜町 HP

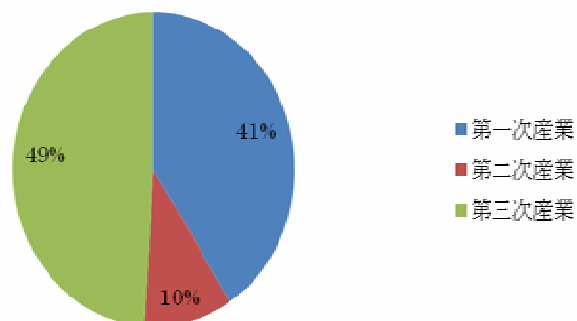


出典：農林水産省 HP

雨竜町の人口は図 5 からわかるように、1947 年から 1955 年までは緩やかに増加しているが、1955 年を境に減少傾向にある。特に、1960 年から 1975 年までの 15 年間の人口減少が著しく、この 15 年間で約 4000 人減少している。1975 年以降も減少は続いているものの減り方はなだらかである。しかし、1995 年から徐々に減少数が増えてきている。また、人口は、年々ばらつきがあるものの、世帯数は一定であり、あまり変動がない。このことから、1 世帯当たりの人数が減っていることが分かる。

年齢別人口推移からは、年少人口と生産年齢別人口が減少しているのに対し、老年人口だけが増加しており、2005年には1000人を超えている。以上のことから、雨竜町は少子高齢化の傾向が顕著に表れていることが分かる。また、2005年の人口は約3000人なので、2005年の時点で人口の約3分の1が老人ということになり、この少子高齢化の傾向はこれから先も大きくなると考えられる。

図7：産業別人口比



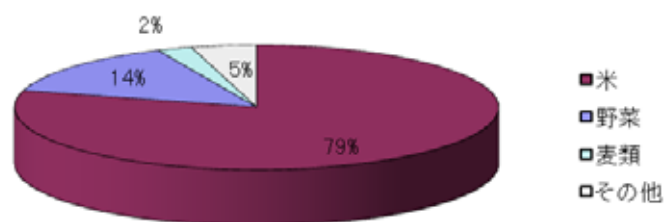
出典：雨竜町 HP

3.雨竜町の産業

3.1 産業別人口

雨竜町の産業人口の総数は1545人である。雨竜町の産業は農業が中心となっているため、第一次産業の割合が高くなっている。農家数は345戸であり、農業従事人員数は1222人となっている。また、農業産出額は約30億円にもなっている。しかし、農業者の高齢化、後継者不足といった問題は、雨

図8：農業産出額の内訳



出典：農林水産省 HP

竜町でも年を追って深刻化している。

図9：暑寒メロン



雨竜町 HP

図10：暑寒ジンギスカン



出典：雨竜町 HP

3.2 特産品

雨竜町の特産品は4つある。

1つ目は『暑寒メロン』である。これは、産地である雨竜町が暑寒別天売焼尻国定公園内の“雨竜沼湿原”への玄関

口であることから暑寒の名称をとって名付けている。青色果肉の天恵メロンで、赤肉に比べ糖度が2~3度高く甘みが強く、1玉1.3kg~1.5kgと大玉で、日持ちするのが特徴である。

2つ目は『暑寒ジンギスカン』であり、良質な羊肉を独自に味付加工したジンギスカンとなっている。

3 つ目は、『漬物の素「アラー!!カンタン」』である。これは、雨竜町特産品(漬物の素)で無添加であり、酵母の働きによって充分熟成された自然の味となっている。

図 11:漬物の素「アラー!!カンタン」



雨竜町 HP

そして、4 つ目は『雨竜米』である。有機減農薬栽培で生産される「雨竜米」は、安全・安心・高品質であり、超低温籾貯蔵で限りなく新米に近い状態で販売している。「雨竜米」は、雨竜町内レストランのほか、全道各地のホテル・レストランで使用されており、全道米食味ランキングでは、市町村別で 2 年連続の「2 位」にランキングしている。

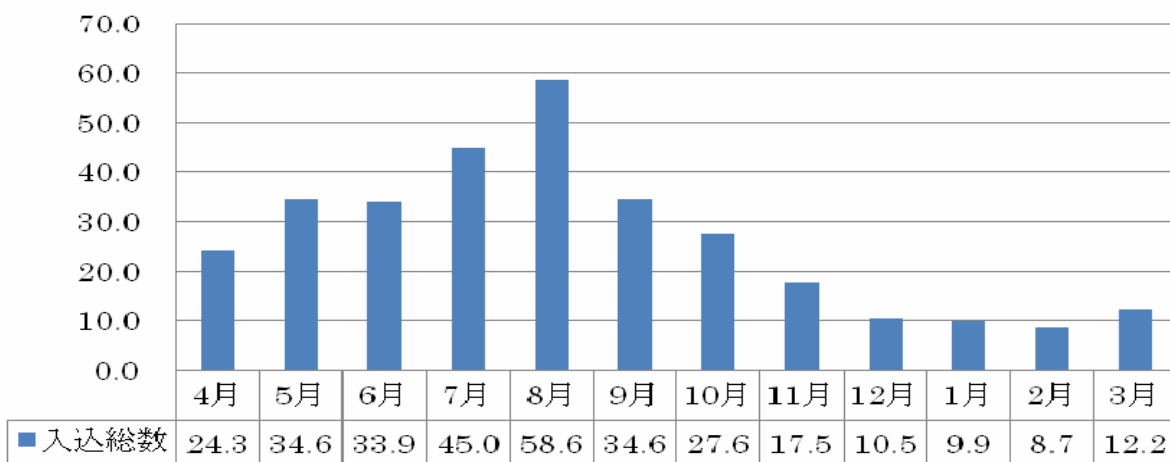
図 12:雨竜米



出典：雨竜町 HP

4．雨竜町の観光

図13 2008年度観光客入込数(千人)



出典：北海道観光入込客数調査報告書

4.1 観光客入込数

図 14 からは、7 月、8 月の暖かい時期に観光客が多く、12 月から 3 月までの寒い時期に観光客が少ないことがわかる。これは、雨竜町の自然が豊かであり、観光客の多くがその自然を観光の目的としているからだと考えられる。

4.2 観光名所

雨竜町の最も有名な観光地は「雨竜沼湿原」である。

「雨竜沼湿原」は暑寒別天売焼尻国定公園の主要景勝地であり、日本有数の山岳型高層湿原帯。寒冷貧栄養の生息環境下でミズゴケ、スゲ類が腐食しないまま数千年をかけて堆

積し、厚みを増して元の水面より盛り上がったことによりできたものであり、流動性の強い玄武岩溶岩流の台地上に形成された泥炭地で、雪解け水や雨水の多少で形状を変化させる大小 700 以上の池塘（ちとう）と呼ばれる沼が点在し、その最大のものは雨竜沼と呼ばれている。

植生は高層湿原独自の特徴を示し、春の雪解けから秋までに 200 種以上の花や植物が観察できる。ミズバショウを代表に、ショウジョウバカマ、エゾノリュウキンカ、イワイチヨウ、シナノキンバイ、チングルマ、エゾノシモツケソウ、ハクサンチドリ、エゾノサワアザミ、ザゼンソウなどが多く見られ、特に 7 月にはエゾカンゾウがオレンジ色に咲き乱れ艶やかに湿原を彩る。8 月上旬までの短い夏の間には、それら無数の花々が鮮やかに一帯を彩り、ヒツジグサを水面に浮かべ、万年雪を抱いた暑寒別の山々を映す沼と、数多くの高山植物の描き出す雄大な光景は、多くの登山者を魅了し『北海道の尾瀬』とも称されるが、訪問者は尾瀬に比較し圧倒的に少ない。また、最近、池塘で、固有の新品種が確認され、「ウリュウコウホネ」と命名された。これまでオゼコウホネとされていたスイレン科コウホネ属の水生植物である。湿原の中には 1 周約 3.5km の木道がある。その他に湿原全体を見る場所として、湿原を半周したところにある南暑寒岳（標高 1491m）への登山道を少し登ったところに、湿原展望台がある。そこでは広大な湿原全体を見下ろすことができる。

学術的にも貴重な湿原であり、1964 年 10 月、雨竜沼高層湿原帯として北海道の天然記念物に指定、1990 年には暑寒別岳などともに暑寒別天売焼尻国定公園に指定、2005 年 11 月 8 日には、624ha が、ラムサール条約登録指定湿地として登録されている。

さらに、雨竜町には道の駅がある。雨竜沼湿原への入り口に位置する道の駅「田園の里うりゅう」は、国道 275 号に面し、正面玄関までの通路の右側には「雨竜沼自然館」、左側には「特産品直売施設」があり観光の情報発信基地・農産物品物流の中心拠点として都市消費者をはじめ、多くの人々との交流施設として賑わっている。また、「雨竜沼自然館」は、町内在住の写真家である岡本洋典さんが撮影した雨竜沼湿原の写真を中心にラムサール条

図 14:雨竜沼湿原



出典：wikipedia

図 15:道の駅「田園の里うりゅう」



出典：北の道の駅

約登録湿地・北海道遺産にも認定されている雨竜沼湿原の雄大な景色や貴重な動植物などが紹介されている。

参照ホームページ

雨竜町 HP : <http://www.town.uryu.hokkaido.jp/>

Wikipedia: <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9B%A8%E7%AB%9C%E7%94%BA>

気象庁 HP : <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>

農林水産省 HP 『市町村の姿』 : <http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>

北海道 HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

北の道の駅 : <http://www.hokkaido-michinoeki.jp/data/46/each.htm>